

こうの 友佳 か

身近な京都市政を
市民にもっと



- PROFILE
- 昭和61年(1986年)6月17日生まれ
 - 幼い頃から今もずっと、西京区で暮らしています。
 - さかいだに幼稚園卒園 ●桂坂小学校卒業
 - 中学、高校、大学と同志社で学ぶ。同志社大学社会学部卒業
 - 学生時代はラクロス部に熱中しました。体力には自信あり。
 - 大学時代に当時同和行政全面廃止に取組む村山京都市議のもとで学生スタッフとして働く。
 - 毎日放送(MBS)系列のテレビ・ラジオ番組を制作。 ●ザ・リツ・カールトン大阪に入社
 - 地域政党 京都党西京区支部長 ●趣味 カラオケ・散歩・茶道
- 市政に挑戦!



**京都党代表
京都市会議員
村山祥栄**

河野さんは大学在学中から私の事務所スタッフとして、事務、支持者との折衝、ウグイス嬢、活動報告会の司会など多岐にわたり私の片腕としてサポートしてくれました。当時から街に対する思いも強く、細やかな動きと課題発見能力と課題解決力は目を見張るものがありました。今度は地元の皆さんとの片腕となって活躍してくれると確信しています。皆さん、よろしくお願ひします。



**元三重県知事
北川正恭**

1999年、地方分権一括法で国を挙げて地方分権を進めようと取り組んできたが、未だ地方分権が進まない。人口減少局面の中で、地方が善政競争をして全体を盛り上げていくことが国力の底上げにつながります。つまり、方が元気に活発になる必要があります。これまで政策論争ができる土壤を作るためにマニフェスト運動を進めて参りました。次の課題は地方分権社会に合った地方の活性化であり、その為の地域政党の育成です。地域政党が元気になれば、方が元気になる!地域政党にご期待ください。

ポスター掲示のお願い

新人からの挑戦。
特に知名度の低さに苦戦しております。
ポスターは屋根のない所でも掲示可能です。
自宅の壁に限らず、ガレージ、農地など、
ポスター掲示にご協力をお願いします。



連絡先

TEL | 075-925-7598
FAX | 075-925-7598
MAIL | kouno@kyoto-party.com
HP | [こうのゆか](#) [検索](#)



京都 都 党 と は



西京区支部長 こうの友佳



国政に振り回されず、京都を第一に考える、 1. しがらみのない政治判断が可能。

国政政党に属する地方議員はどうしても、中央の政党の方針に逆らえない側面があります。一方で**地域政党は地域の利益を第一に考えた政治判断が可能です**。国政には振り回されません。地域によって抱える課題は様々です。京都党は京

都の地域政党として、地域の課題に**市民目線**で取り組みます。

また、あえて業界団体や労働組合からの支援も断っています。選挙では苦労したとしても、**しがらみのない政治を実行できる**のです。

2. 平均年齢33歳 の青年政党

「若者にも政治に関わってほしい」「新たな目線で議会を変えてほしい」そういったお声を糧に、また市民の先輩世代のお知恵もいただきながら、慣習に縛られない市民目線で市政に取り組んでいます。

各京都党議員事務所では長年多くの学生をインターーンとして迎え、これまでに三百人以上のインター

ン卒業生が学生時代に政治と関わった経験を生かし各界で活躍しています。学生インターンをきっかけに議員を志す者もいます。こうの友佳もその一人です。若者の政治離れが深刻なこの時代に、京都党はこれからも政治と若者の架け橋になり続けます。

3. 議員特権 にも 切り込む

〈 あいつぐ災害 に向けて 〉

大阪北部地震、豪雨災害、そして台風から見えてきた課題をもと対策を進めています！

● ブロック塀

京都市でもさっそくブロック塀の他、投てき板、仕切り壁などの点検を開始。緊急性の高いものは撤去し、教育活動に支障が出ないかを基準に今後フェンスが設置されます。通学路や公共性の高い公園付近などのブロック塀にも上限15万円で除去工事の補助が決定されました。

- **京都市議の定数を9名減らすことを提言**。3万件近い署名を頂き、ようやく2名の削減が実現しました。その後も議会にて定数削減の指摘を続けています。
- 財政難にも関わらず提案された**議員の報酬アップ**には断固反対しました。
- 一人100万円の予算にて行われる海外視察に反対。視察に行くのであれば、各議員に支給されている政務調査費でまかなうべきと主張しています。

● 避難所

障がい者の福祉避難所枠の再確認・改善、区役所での備蓄体制の強化、避難情報の発信方法など災害現場や避難所での経験・ご意見を踏まえさっそく市に要望し、改善に向けて努力を致しております。

● 路面水はけ

側溝が詰まっているために大雨の度に路面が水浸しになる、バス停前に水たまりがあり車が通ると水しぶきがかかる、など大小問わず地域の雨対策にも奮闘中です。

▶ いざというとき大丈夫!? 災害時の非常用電源の違法状態!!



最新型小型模擬負荷試験装置

災害等で停電した際に、電気を確保するのが非常用電源。スプリンクラーや消火栓のポンプの稼動をはじめ、二次災害を防ぐ大きな役割があります。しかし、東日本大震災や阪神大震災でも点検不備で始動しなかった事例

が多く発生していました。この非常用電源は、消防法で年に一度、30%負荷を掛けて異常がないかを確認する法定点検が義務付けられています。しかし、あろうことか、京都市の区役所や文化施設などの多数の施設で法

定点検が出来ておらず、違反状態であることが京都党の指摘でわかりました。災害などの有事に非常用電源が始動しなければ甚大な被害に繋がる恐れがあります。法を遵守し、適切な点検を行うよう是正を求めました。